

ロタ予防接種のお知らせ

予防接種法に基づく定期予防接種を実施します。予防接種はお子さんを病気から守るため、また周りへの感染症の拡大を防ぐために必要なものです。予防接種の目的や内容をよく理解した上で、お子さんの体調の良い時に受けましょう。



1. 対象時期・接種回数

ワクチン名	ロタリックス	ロタテック
接種時期	出生 6 週 0 日後から 24 週 0 日後	出生 6 週 0 日後から 32 週 0 日後
	※どちらのワクチンも、初回接種を生後 2 か月から出生 14 週 6 日後までにします。	
接種回数	2 回接種（27 日以上の間隔をあける）	3 回接種（27 日以上の間隔をあける）
接種後、特に注意する事	どちらのワクチンも、接種後（特に 1～2 週間）は腸重積症（後述）の症状に注意し、症状が見られた際には、すみやかに接種した医療機関を受診してください。	

※出生〇日後、出生〇週●日後は、出生日の翌日を 1 日後として算出。

出生 6 週 0 日後とは、生まれてから 6 回目の同じ曜日。出生 32 週 0 日後とは、生まれてから 32 回目の同じ曜日。

出生 14 週 6 日後とは、生まれてから 15 回目の同じ曜日の 1 日前を示します。

2. 接種場所 別紙「令和 7 年度 予防接種協力医療機関一覧表」のとおり
※事前に医療機関へ予約してください。

3. 持ち物 予診票・母子健康手帳

4. 費用 無料（公費負担）※接種時期を過ぎると全額自費となります。

5. ロタウイルス胃腸炎とは？

口から侵入したロタウイルスが腸管に感染して発症します。

感染力が非常に強く、手洗いや消毒などをしっかりしても、感染予防をすることが難しいため、乳幼児のうちに、ほとんどの子どもが感染します。

下痢や嘔吐は 1 週間程度で治りますが、下痢、嘔吐が激しくなると、脱水症状を起こす場合もあり、乳幼児の急性胃腸炎の入院の中で、もっとも多い感染症です。

一生のうちに何度も感染するウイルスですが、初めてロタウイルスに感染した時は、特に重症化しやすく、まれに脳や腎臓に影響をおよぼすこともあり、注意が必要です。生後、すぐに感染する場合もあるので、ワクチンの接種は、早い時期に完了させます。

裏面をご覧ください

6. ワクチンについて

ロタウイルスワクチンは2種類あり、どちらも生ワクチン（弱毒化したウイルス）で、飲むワクチンです。医療機関を予約する際に、予約先の医療機関が扱うワクチンの種類を確認してください。

2種類とも、予防効果や安全性に差はありませんが、接種回数が異なりますので、他のワクチンとの接種スケジュールなどを考慮して選択します。

途中からワクチンの種類を変更することはできません。最初に接種したワクチンを2回目以降も接種します。異なるワクチンを接種した場合、やむを得ない事情があると村が認める場合を除き、定期接種の対象外（自費）となります。

なお、このワクチンは、ロタウイルス胃腸炎の発症そのものを7～8割減らし、入院するような重症化は、そのほとんどが予防できます。ただし、ロタウイルス以外の原因による胃腸炎には予防効果を示しません。

7. ワクチンを接種する前

赤ちゃんのお腹がいっぱいと、上手にワクチンが飲めない場合がありますので、接種前30分ほどは授乳を控えることをおすすめします。

上手に飲めるよう、医師、看護師の指示に従ってください。

なお、ワクチンがうまく飲めなかったり、吐いてしまった場合でも、わずかでも飲み込みが確認できていれば、ワクチンの効果に問題ありませんので、再度接種（費用自己負担）する必要はありません。

8. ワクチンを接種した後

接種直後は、医療機関で30分ほど様子を見てから帰宅してください。

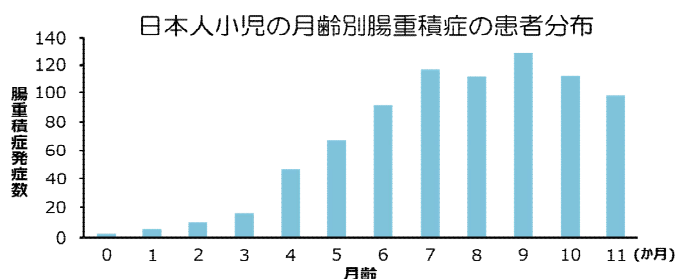
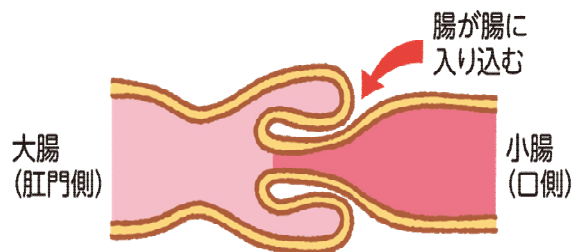
ワクチン接種後2週間ほどは、赤ちゃんの便の中に、ワクチンのウイルスが含まれることがあります。おむつ交換の後など、ていねいに手を洗ってください。高熱、けいれんなど、異常を感じた場合は、すぐに医師の診察を受けてください。

9. 腸重積症（ちょうじゅうせきしょう）について

腸重積症とは、腸が腸に入り込み、閉塞状態になることです（左の図）。

0歳児の場合、ロタウイルスワクチンを接種しなくても起こる病気で、もともと、3～4か月齢ぐらいから月齢が上がるにつれて多くなります（右のグラフ）。

早めに接種を開始し、完了させることがすすめられています。



腸重積症は、手術が必要になることもありますが、発症後、早く治療すれば、ほとんどの場合、手術をせずに治療できます。以下のような症状が一つでも現れたら、腸重積症が疑われます。すみやかに医療機関を受診してください。

- 泣いたり不機嫌になったりを繰り返す
- 嘔吐を繰り返す
- ぐったりして顔色が悪くなる
- 血便がでる